

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 28 年 4 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図 1 ～ 3）

17 日に気象庁が実施した海上からの観測では、遠望観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口から、従来から認められている少量の噴気を観測しました。（図 2、3）。
周辺に変色水は認められませんでした。

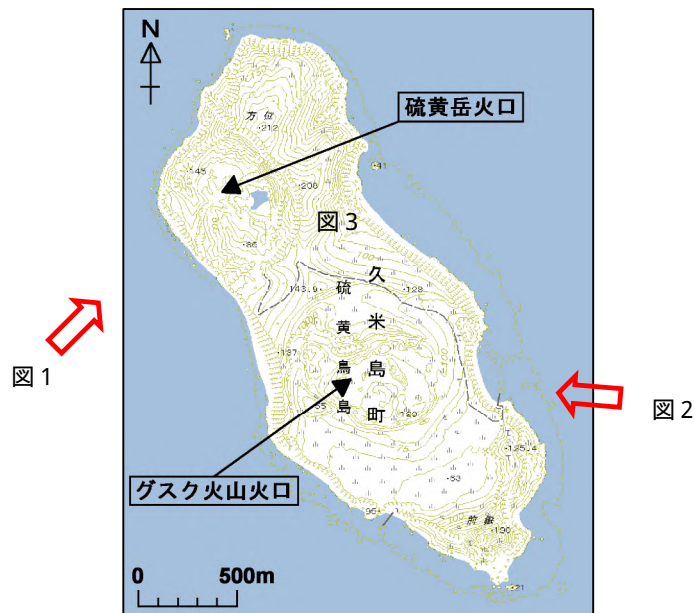


図 1 硫黄鳥島 火口位置図と各図の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。



図2 硫黄島 硫黄岳火口の状況（17日）
・硫黄岳火口からは、間欠的に噴気があがるのが認められました。



図3 硫黄島 グスク火口の状況（17日）
・グスク火口に白色噴気が認められました。